

## 平成21年度第2回我孫子市福祉有償運送運営協議会会議録

開催日時 平成22年2月23日(火) 10:30~11:10  
開催場所 議会棟第1委員会室  
出席委員 10人  
出席法人 7法人  
事務局 4人  
関係職員 3人  
公開の状況 公開  
傍聴者 0人

### 【会議の概要】

#### 1 会長あいさつ

本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

協議会の開催に先立ち一言ご挨拶申し上げます。

9月の第1回目に引き続きまして、今回は今年度2回目になります。よろしくお願いいたします。

我孫子市では今年度、第4次健康福祉総合計画の策定を行いました。これは22年度から26年度までの5年間における我孫子市の健康福祉施策の方向性を定めた計画となっております。障害の有無や年齢にかかわらず、すべての人が住み慣れた地域で家族とともに暮ることができる「ノーマライゼーションの実現」を基本理念として、策定を進めてまいりました。

今回の策定を機に、この福祉有償運送事業も施策体系の中に位置づけております。道路や駅のバリアフリー化、あびバスの運行などとともに、「ノーマライゼーションの実現」のための、重要な施策の1つと考えております。

本日は、平成21年4月から平成22年1月までの輸送実績報告に関して協議を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上、簡単でございますが、ご挨拶とさせていただきます。

## 2 運営協議会の成立要件報告

協議会委員数10名に対し、10名の出席があり、過半数の出席を認めたため協議会が成立したことを報告。

## 3 平成21年4月～平成22年1月の輸送実績の報告について

事務局から、出席法人より提出された資料に基づき平成21年度4月～平成22年1月の輸送実績を報告。

### <質疑応答>

(委員) 各団体における昨年の実績との比較、今後利用が増えても対応可能かどうか、利用を広めていく上での広報活動について、お伺いしたい。

(我孫子市社会福祉協議会) 今年度の4月の会員数が151人、現在は171人ということで、若干増加しているが、利用率にそれ程大きな変化はない。登録車両は福祉車両4台、セダン3台の計7台で、もう少し利用が増えても対応は可能である。ボランティアの方が72人登録されている。ボランティアの方には講習を受けてもらうことになっている。社会福祉協議会独自で講習会を数年に一度行っている。最近では一昨年に行った。たまに運転ボランティアをやりたいという方がいらっしゃるが、講習を受けてもらわないとできないことになっている。県の講習会も受けていただきながら、何年かに一度、社会福祉協議会でも講習会を開けたらいいと考えている。

広報については、社会福祉協議会のホームページ、社協だよりなどへの掲載を行っている。また市の窓口での紹介を行ってもらっている。

懸案事項としては、障害をお持ちのお子さんが学校に通学するに当たって、この移送サービスを使いたいという希望があった。毎日のことなので、ボランティアの確保など、どういうふうに対応していったらいいのかと考えている。

(我孫子ビークルサービス) 会員の昨年度との対比では約5%の微増、協力会員も若干増えているが、利用の中身はあまり変わっていない。PRについてはホームページ、県民プラザにチラシを置いているが、特に積極的なPRは行っていない。市の介護支援課や福祉関係からの紹介ということで利用されることが多い。

(パレット) 利用状況は昨年とほとんど変わっていない。利用する会員もほとんど変わっていないので、来年度以降もこのような状態でいくものと思われる。PRについては、市から一時預かりの制度の紹介などで利用者が来た際に事業の紹介を行っている。特別なPRは公にはしていない。

(ほがらか) 利用者の状況は変わらず、昨年と同様である。日中デイサービスをしていて、福祉車両が空いている状態なので、空いている時間帯に利用が合えば利用してもらうことは可能である。今後、定年を迎えた人の働く場として継続していきたいと考えている。

(アコモード) 事業所が実施している形態なので、会員はその事業所の利用者が対象となる。全体的にみると介護高齢者が多い。昨年と同じような利用状況である。利用者が増えた場合というのは施設利用者の増加が前提となるが、多少の増加は対応可能である。PRについては特に行っていない。

(柴崎すずしろ会) 昨年と比較するとあまり変化はない。今まで車イスに対応できる福祉車両がなかったが、2月から福祉車両を納車した。車イスの方も利用できるよう、利用を増やしていきたい。PRについては市役所からの紹介のみで特に行っていない。

(つくばね会) 昨年とはほとんど変化はない。利用者も同じである。法人内の事業所の送迎に利用している。利用者の方で送迎を希望する方がいれば、利用していただくことを考えているが、特に対外的なPRは考えていない。

(事務局) 高齢者や障害者へのサービスの一環としてこの制度の紹介・相談に留まっており、市では特にPRを実施していない。PRは必要と認識しているが、その方法については今後の課題とさせていただきたい。

(委員) 先程の発言の中で、定年退職をした高齢者の受け入れ先という発言があった。講習会を受けて是非やってみようという方もいらっしゃると思う。例えば社会福祉協議会と我孫子ビークルサービスが共同で講習会を開催したりすることはできないか。

(我孫子市社会福祉協議会) 前回、講習会を実施した時はビークルサービスさんも参加していただいているので、やる時は声をかけたい。ただし、広報をすると市外、県外の方が応募される。社会福祉協議会としては、なるべく我孫子市内の福祉需要に役立てていきたいと考えているが、遠くから連絡があると、あまり無碍にも断

れない。

(委員) 母が社会福祉協議会の福祉有償運送を利用していたが、1週間に1往復半という制限がある。それを病院に移動する時だけは2往復にするとか、できないものだろうか。もし1往復半しか利用できないのなら、他の業者とも契約できるようにしてもらいたい。

私もこの事業をケアマネジャーから知ったのだが、一般市民にも、もっとアピールすべきはないだろうか。私の住んでいる地区はどこへ行くにしても坂を上らなくてはならない。もっとアピールすれば助かる人もいるのではないか。

(我孫子市社会福祉協議会) 社会福祉協議会では現在、1週間に3回という回数を決めさせていただいている。利用回数については、今後の検討とさせていただきたい。PRについても、引き続き努力していきたい。

また、複数の事業所と同時に契約することは一向に差し支えない。

(委員) 私の事業所ではPRのチラシを置いている。相談があると、私はそのチラシを見せて、こういうサービスがあると紹介している。

#### 4 閉会

(事務局) 本年度の会議は今回をもって終了。

なお、来年度は2回を予定。運送実績報告の他に、1月までに登録有効期限が満了する団体が4団体、3月までの団体が1団体あるので、11月下旬に開催を予定している。また、登録更新を含めた運送実績報告を2月下旬に行いたい。開催日時は決まり次第、改めてご案内したい。

(会長)

以上をもって平成21年度第2回福祉有償運送運営協議会を閉会する。

以上